# 聖書箇所:マタイの福音書28章16~20節
# 『復活のイエスと共に』

---

## 【1】 ガリラヤに行くように

・弟子たちの挫折

—十字架にかけられたイエスを見捨ててしまった弟子たち

—イエスの死後、深い失意の中に置かれた

・復活のイエスとのガリラヤでの再会

—イエスの宣教開始地（ﾏﾀｲ 4:12–17）、弟子たちの召命の原点（4:19）

—イエスの呼びかけによって再生の歩みを始めた弟子たち(26:32; 28:10)

## 【2】十一人の弟子たち

・イエスへの礼拝と疑い

—復活のイエスと再会し、それがイエスだと理解し礼拝した弟子たち

—同時にイエスを疑った（ﾏﾀｲ 28:17）

・弟子たちの疑い

—「疑う」（ｷﾞﾘｼｱ語：ﾃﾞｨｽﾀｿﾞｰ）：「信じない」という意味ではない

—「ためらう、（不確かである事柄について）二の足を踏む[1]」

## 【3】大切なのはイエスの権威と臨在

・ためらう弟子たちに自ら近づき、語りかけてくださった復活のイエス

・弟子たちに新たな使命を与えたイエス

—イエスがご自分の権威に基づき、弟子たちを新たな使命のために派遣された。新たな使命とはあらゆる国の人々を弟子とし、父と子と聖霊の御名によってバプテスマを授け、イエスが命じられたすべてのことを守るように教えること（ﾏﾀｲ 28:19–20）。

・*「インマヌエル（神が私たちとともにおられる）」*（1:23）から始まり、*「世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいる」*で締めくくられるマタイの福音書。

▷イエスの「大宣教命令」は、人間の力ではなく復活のイエスと共に遂行されるものです。私たち横浜緑園キリスト教会も、福音を宣べ伝え、バプテスマを授け、主の教えに生きる歩みをするためにこの地に建てられているのです。

---

[1]BDAG, s.v. “διστάζω,” 252.